



# 青い鳥



第17号

発行：園部町ボランティア連絡協議会  
南丹市社会福祉協議会園部支所

平素は、当協議会にご支援・ご協力いただき誠にありがとうございます。  
早いもので、本年度も残りわずかとなりましたが、おかげさまで、当初計画して  
おりました活動もほぼ実行することができました。

本誌にて、年間の活動を振り返りましたので、新たな出逢いや感動、笑顔を  
思い出しながら、今後のボランティア活動に生かしていただければ幸いです。  
本年度、新たに3組のグループが加わり、さらにボランティアの輪が広がってい  
ます。まずは、自分たちが大いに楽みながら、今後ともよろしくお願ひします。

園部町ボランティア連絡協議会会長 中西博美

2018  
1月

## 視察研修は「京都市防災センター」と「オムロン京都太陽(株)」へ！



◆開催日：平成30年1月31日(水)

◆参加人数：40名(バスにて)



京都市市民防災セン  
ターは、災害の疑似  
体験を通じて防災に  
ついて学べる施設。

&lt;体験したプログラム&gt;

- 映像体験
- 強風体験
- 地震体験
- 4D 都市型水害体験



オムロン京都太陽株式会社様は従業員の80%が障がい者です。

「障がいがあっても、残された機能を最大限に活用し、足りないところは自動化技術で補う」そんな“ものづくり”に対する姿勢を目の当たりにし、感動しました。



昼食は、新都ホテルの  
ランチバイキングを  
たっぷり楽しみました。

## 視察研修に参加して

平成30年1月31日、園部町ボランティア連絡協議会主催の視察研修に参加しました。所属のボランティア団体からの代表者など約40名、午前8時45分に貸切バスで出発しました。まず、京都市市民防災センターへ行きました。ここは「体験を通じて災害時に不可欠な知識や行動力を身に着けるための施設」と標榜されているように、地震体験コーナーでは震度7の揺れを一般家庭の部屋を模したスペースで体感しました。また強風体験コーナーでは、風速32メートルの強風下における行動の困難性を体験しました。また4D映像により、地下街への濁流浸水の様子を間近に見ることができました。いずれも自然の脅威、災害の怖さを実感することが出来、貴重な体験となりました。また京都における大地震や災害の歴史についても学び、大きな災害は何時起つても不思議ではないことも理解できました。

昼食は、京都駅南にある新・都ホテルのバイキングレストラン「ル・プレジール」です。和食、洋食にと様々な料理に舌鼓を打ち、同じテーブルの参加者と楽しい交流が出来ました。また女性陣には食後のケーキバイキングが大好評、研修の緊張感もどこへやら、大満足の食事会となりました。



(西本梅ばんど)



午後からは、京都市南区にある、オムロン京都太陽株式会社を見学しました。この会社は、オムロン株式会社と社会福祉法人太陽の家が共同出資して設立したものです。企業と福祉の両者を結びつけ、障がい者の雇用を生み出すとともに、企業としても自立した経営が出来るように運営されています。なにより、このことにより、障がい者の自立、生きがい、働く喜びが生まれることが最大の社会貢献になっていることを実感しました。まずははじめに担当者による会社の歴史や設立の理念などについて、スライド資料をもとにレクチャーがありました。その後、実際に作業をしている工場を見学しました。一部、作業を指導する職員のほかは、大半の方は車イスを使っていました。四肢に困難のある方であり、皆が椅子に座って作業されています。作業内容は、自分の可能な範囲での精密機器の組み立てや、製品のパック作業です。そして各作業机の上には、デジタルの表示板が設置され、目標値、実績値などの数字が出ていましたが、職員によって、目標値が100個であったり、1000個であったりしているのを見ると、個人の能力に応じて、できる数量を設定していることが分かり、人を大切に育てている会社であることを実感しました。

## 「第11回南丹市ボランティア交流会」開催 今年度は園部が会場に！

2017

11月



### 笑顔とパワーあふれる交流会

- 第1部：講演会
- 第2部：ランチ交流会
- 第3部：ステージ発表



小寺郁子(かわせみ)

園部公園が紅葉に包まれていた11月21日、会場のイベントホールでは、笑顔とパワーが満ち溢れ、交流の輪も広がっていました。

第一部は「楽しくなくっちゃボランティアじゃない」と題した栗木先生の講演。笛の合図も絶妙で巧みな話術に惹きつけられ、こんな楽しい講演会ってあったのかなと思えるぐらいに、笑い、うなずき、そして納得の内容でした。活動へのエネルギーをいただきました。

第二部は「ランチ交流会」。番号ごとのテーブル席が用意されており、初めて出会った方とも自然に会話が弾みました。どの方も自分の活動について生き生きと語られ、聞くのも楽しい交流タイムとなりました。

第三部は「ステージ発表」。「クレージーモンキーズ」の情感豊かなサックスの音色に聴き入り、「花いちもんめ」の漫才は息もぴったり！「KAYA」のブックトークの世界に引き込まれ、「八木ボラ一座」の踊りに圧倒され…意気込みに感動した発表でした。

今日の交流会はゆったりと時間が流れる中で、充実した一日を過ごし、私もボランティアの一員であることに喜びを感じながら会場をあとにしました。

“笑みを絶やさずパワー溢れるボランティア  
楽しみなほも続けむなほも”



2017  
10月

## 「ひとり暮らし高齢者のつどい」で たくさんの笑顔に出会いました。

◆開催日：平成29年10月26日（木）

◆会場：南丹市国際交流会館



ボラ連有志によるバンド演奏や落語、  
バランスよい食事を題材にした大家族で  
の「焼肉ジャンケンゲーム」で大いに盛り  
上がり、笑顔があふれていきました。



2017  
7月

## 「夏休みボランティア体験」に 100人を超える来場者が！

◆開催日：平成29年7月29日（土）

◆会場：南丹市園部公民館



新登場の「将棋」・「輪投げ」をはじめ体験ブースには、幼児・小学生から年配者まで多くの方々が、いろいろなメニューに取り組まれていました。



### <11の体験ブースを開設>

- オカリナ
- 車いす
- おにぎり
- 輪投げ
- 点字
- 手作り小物
- 脳トレ
- 将棋
- 要約筆記
- 絵手紙
- マジック

### ◆多くのご感想をいただきました。(抜粋)

- 輪投げをしたり、ボールプールに入ったり、魚つりをしたりして楽しんでいました。オカリナの音を聞いて、きれいだねと言っていました。(二歳児の母親)
- お世話になりました。楽しく過ごさせていただきました。ありがとうございました。(73才・女性)
- たいへん楽しく体験させていただきました。ありがとうございました。(68才・男性)
- すごく楽しかったです！もっと時間のある時に来たいなと思いました。(12才・女児)
- 今日は車イスの体けんをして、車いすをおすときには、声をかけるということを知りました。また、こういうきかいであつたらしてみたいです。(小6・女児)
- おもしろかったし、楽しかったです。一番おもしろかったのは「においぶくろ」を作ることです。(小6・女児)
- 今日行った場所(車イス・おにぎり屋さん・手作り小物・脳トレ)が楽しかったのでよかったです。(小6・女児)
- 輪投げをしたり、楽しく過ごしました。(大人)
- 今日も色々な体験をさせていただきました。輪投げを久しぶりにやりましたが、楽しかった。(35才・女性)
- いろいろ体験させて頂きました。ありがとうございました。今後、役立てたいと思います。(65才・女性)
- まずしようぎをして、においぶくろもつくったけど、まちがえたけど、できてうれしかったです。またきてちがうコースにもいきたいです。(小3・女児)
- オカリナはきれいな音がして、おもしろかったです。車いすは段さの所が大変でした。脳トレは穴に通す所でくろうしました。絵手紙はうまくかけたと思います。マジックは、たねあかしもしてくれて、よかったです。(小6)
- しようぎがたのしかったです。(小1・男児)
- ボランティアの対応が良かったです。(26才・男性)

### チャリティーバザーを同時開催

今年も会員様より多くの品を  
ご提供いただきました。

◆バザー売上金額:71,593円。

売上額の中から20,000円と募金箱の6,265円を  
京都新聞社会福祉財団を通じて、九州豪雨災害被  
災者へ寄付させていただきました。



2017  
5月

# 「平成 29 年度総会」開催



前年決算、新年度予算とともに、新年度の役員が承認されました。

総会後、「劇団 3 人」による寸劇、「新舞会」による日本舞踊で楽しみました。

◆開催日：平成 29 年 5 月 30 日（火）

◆会場：南丹市園部公民館

## ＜平成 29・30 年度 役員名＞

会長	中西 博美（個人 V）	委員	森 富美子（ひまわり）
副会長	広瀬エミ子（かわせみ）		高屋絵利子（はとばっぽ）
	田中 令子（かわせみ）		田尻 敏子（はとばっぽ）
会計	田井 二郎（送ってカエル）		山本 孜彦（クレージーモンキー）
委員	西田 修身（劇団三人）	監査	西田 真弓（おはなしポケット）
	大下 義弘（手話青空）		井上みよし（いきいき V）

## 本年度、新入会サークルです。よろしくお願ひします。

### 【河鹿合唱団】 (34 名)

園部町で最も古い混声合唱団です。

団員数約男性 9 名、女性 25 名。年齢はさまざま、20 代～70 代まで、遠くは舞鶴から通って来られる方もいます。

ここ数年、団員数は増加しているので、団員の励みにもなっています。そして、いろいろな施設から、訪問演奏の依頼も多くなりました。歌うことの好きな団員にとっては、とてもうれしいことです。ほとんどの団員が仕事を持っています。コーラスは、各パートの人数が揃わないと歌えないので、ボランティア活動は、土日に限られます。でも、積極的に参加したい団員が多数で、それがボランティア協議会に入会するきっかけとなったことは確かです。

団員の平均年齢も上がっています。訪問先では、一緒に心地いい時間を共有できることがうれしいです。他の会員様方の活動も知り、より深くボランティア活動ができるることを期待して、ボランティア連絡協議会での交流と活動の輪に、無理なく少しづつ、参加協力ができればと思います。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。



### 【西本梅ばんど】 (8 名)

楽器を持って集まれば青春そのもの。

ボランティアグループとして、バンク登録させて頂きました。私達は、園部町南八田にあるスタジオを拠点にバンド活動をしています。昭和歌謡から懐メロポップス、フォーク、ロックと幅広い曲目をレパートリーに、その場にフィットした選曲でイベント会場を盛り上げます。ドラムス、ベースのリズム隊に加え、キーボード、ギター、ハーモニカが、時にはソロ演奏をし、バンドとして絶妙のアンサンブルで、歌姫（ボーカル）をサポートしています。さらにバンドメンバーのマルチな才能を活かして、コンサートのプロデュース、イベントの企画・広報活動などにも取り組んでいます。

それぞれが仕事を持ち、現役であるからこそ出来るボランティア活動です。楽器を持って集まれば、若い頃と変わらない気持ちになる、それが親父ばんどの良いところ。忘れないあの歌この歌、人の優しさや愛情、生きていくことの大切さを歌い演奏しています。



### 【たのしい「声」】 (6 名)

「声を出す楽しさ、聞く楽しみ」をボランティア！

皆様、初めまして。今年度よりお仲間に入れて頂きます。

おはなしボランティア“たのしい「声」”です。どうぞよろしくお願ひいたします。

公民館講座「たのしい話し方」の講座終了をきっかけに、社協に入会させて頂きました。自分達でできる社会奉仕をと話し合い発足いたしました。今までのナレーション・朗読を生かして、さらに施設での読み聞かせなど、できる範囲内でお手伝いをさせて頂ければ幸いです。歩き始めたばかりのひよっこですが、今後共、皆様のご指導ご支援賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。



もっともっと  
広げよう！  
ボランティアの輪。

